

ii 転落：ベットの離れる場合は、必ず柵をする。コンビラック、電動ゆりかごなど使用時の注意。

iii 火傷：電気あんか、湯たんぽ、食卓のお茶や熱い汁物

iv 窒息：腹臥位の時は、顔の向き、布団や衣類に注意し、その場から離れない。

②育児環境

i 室温…夏期：クーラー使用の場合は、外気温との差は5℃以内とする。

冬期：暖房を使用しながら衣服や毛布、布団で調節する。

ii 換気：人が生活するだけで、臭気、埃、カビ、細菌、水分が蒸散される。暖房によって有害ガスが発生したり、酸素が少なくなる場合もあるので外気と入れ替える。

iii 清掃：清潔をこころがける。

iv 寝具：柔らかすぎると運動の妨げ、骨の発育などに影響したり、顔が潜ってしまったりするので、座布団程度の硬さの木綿が最適。ベッド（布団）の周りには危険なものを置かない。また、上方からの落下物に注意する。

v 衣類：吸湿性、通気性、保湿性に優れたもの。身体を動かしやすいよう締め付けず、軽いもので着脱の容易なもの。

vi 体位：嘔吐があるときは顔を横向きにする。うつ伏せ寝の場合、児から目を離さず、掛け布団や衣類で顔が覆われないことに注意して、顔が敷き布団に沈まないようにする。

vii 日光浴：特別行う必要はないので、外出程度でよい。

viii 身体の清潔：耳に水が入ることで中耳炎になる可能性は低いですが、入らないように注意する。生後1ヶ月くらいからの湿疹は石鹸で良く洗い清潔に保つ。臍脱後もおへそが湿潤している時は、消毒用にアルコールで消毒をする。

ix) ペット：児の寝ている位置を高くし、犬や猫の毛に注意する。寝室は別にする。犬や猫に触れたときは手を洗う。児に危害を与えないように注意する。

③生活リズム

リズムのとれない時期であることを説明する。

i 睡眠…熟睡：起こしてもなかなか起きない

レム睡眠：脳が発育している状態で、情緒の発達に必要な時

もうろう状態：入眠時や覚醒しはじめの時

覚醒：精神運動機能は感覚器を介して発達する。また、身体生理機能も感覚刺激により促進される。

- ii 啼泣…空腹やオムツの汚れなど、何か不快なことに対する意志表示。抱いて欲しい安堵感を求める……スキンシップにつながる。

6. 母乳栄養

1) 母乳栄養の利点

- ①乳児の消化能力向上や発育に必要な栄養成分の組成となっている。
- ②免疫性、抗菌性があり、病気に対する抵抗力を高める。
- ③母乳の蛋白質は、非抗原性で、アレルギーが生じにくい。
- ④調乳の必要がないので衛生的であり、適温である。
- ⑤授乳は母体の回復を高める。
- ⑥母と子の精神的な安定、満足、心のつながりができる。

2) 母乳分泌を良くするために

- ①母乳は吸わせているうちに分泌が促進される。
- ②授乳間隔にこだわらず、欲しがる都度授乳する。
- ③適度な乳房マッサージを行う。
- ④食事の栄養バランスに気を付ける。
- ⑤睡眠不足や過労にならないように家族のサポートを大切にする。
- ⑥母親の精神的な安定を図り、育児に喜びを持つ。

3) 授乳時間と搾乳時間

- ①母乳分泌が十分ならば、始めの5分間で全授乳量の3分の2を飲み、次の10分間で残り3分の1の大部分を飲んでしまうと言われる。
- ②乳児が吸うことに慣れ、十分に飲めるようになれば、1回の授乳時間は20～30分以内にする。1～2ヶ月も過ぎれば、上手に飲むようになり、20～30分になる。
- ③授乳の間隔は、始めは時間にこだわらず、こどもが欲しがるたびに乳房を当ててみるのも良いが、2～3時間くらいの間隔を目安として与えるようにする。1～3ヶ月頃にはおよそ3時間前後に安定してきて、1日、大体8～10回となる。

4) 母乳栄養の確立のためには

- ①はじめのうちは授乳の練習時間と考える。
- ②授乳を開始して、しばらくは乳房がはらなくても欲しがるたびに吸わせる。
- ③授乳後も乳房の緊満が強い場合は、搾乳して乳房を軽くする。
- ④母親側の条件
 - i 精神的な安定：家庭、育児に対する不安をなくし、自信を持って育児に専念できるよう周囲の人たちが配慮する。
 - ii 十分に休養をとり、栄養のバランスにも注意する。

iii 必要時、乳房マッサージなどをして、母乳分泌を促すような努力が必要である。

⑤搾乳

- i 一度加えた哺乳瓶内の母乳は捨てる。
- ii 冷蔵庫保存は 24 時間以内とする。
- iii 双胎、品胎は 1 本の哺乳瓶での回し飲みはしない。

7. 社会制度

1) 児童手当金（児童手当法）※所得制限あり

- [1] 申請場所…住んでいるところの役所
- [2] 申請に必要なもの
 - ①サラリーマン：厚生年金の加入証明書（会社でもらう）、印鑑、所得証明書、保護者の預金通帳
 - ②フリー、自営業：印鑑、保護者の預金通帳

2) 医療費助成（都道府県乳児医療費助成に関する条例）

※所得制限の有無は各自治体により異なる

- [1] 申請場所…住んでいるところの役所
- [2] 申請に必要なもの；各自治体により異なるが、一般的に健康保険証など

3) 働いている女性の場合

- [1] 育児休業給付金（雇用保険法による）：育児休業中、雇用保険から補償金が出る。手続きは会社で行ってくれる。
- [2] 育児休業（育児休業等に関する法律による）
- [3] 育児休業中の社会保険の免除（健康保険法、厚生年金法による）
- [4] 育児休業時間（育児休業等に関する法律、労働基準法による）

資料 13. 妊婦訪問ケア記録

《 妊婦訪問ケア記録 》

日時 : ____年__月__日

お名前 : _____様

予定日 : ____年__月__日 (妊娠____週__日目)

健診場所 : _____助産所 ・ _____病院

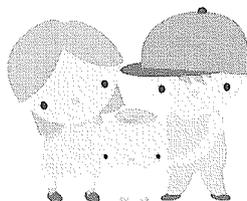
妊婦さんの状況	ケアの内容・アドバイス

資料 14. 対象者のプロフィール一覧表

	No,	1	2 〔例〕
妊 産 婦	モデル別		モデル I
	予定日		2005/2/11
	氏名		t・m
	年齢		36
	初産/経産		1 回経産
	現住所		〇〇区××
	担当医		Dr 佐藤
	担当地域助産師		高橋
	担当当院助産師		山本・斉藤
	妊娠中訪問回数		
	妊娠中特記事項		特になし
	入院期間		2/17~2/21 (4 日間)
	入院月日時間		2/17 (木) 8:00
	分娩月日時間		2/17 (木) 14:00
	妊娠週数		40w6d
	新 生 児	分娩診断	
分所要時間			9 時間 13 分
総出血量			185 ml
性別			男児
体重			3200 g
Ap			9 → 10
臍帯血 PH		7.364	
羊水混濁		黄緑色	
その他		生後 1 日目 k ₂ シロップ	

新生児	入院中の経過		羊水混濁有臍帯血 CRP (4.07) ビクソリ 150mgIV バイ外異常無、黄疸軽度、哺乳 力ゆっくり、眠りがち 4日目 体重減少最大(-10.3%)で退 院となる。
	入院中の経過		子宮復古：良好 ADL 拡大：順調 採血結果：Hb10.6mg/dl フェミナ処方 育児：安定
褥婦	授乳状況		分娩当日より添い寝で授乳 3日目現在も児スリーピーで 明け方 6時間ほど寝てしま うこともあり。起こしつつ直接授 乳すすめる。まだ本人だけでは 吸着浅くしっかり奥まで捉え られていないため乳汁も濃い のがでる。直母の時間をあけず にしっかり行い、同時に吸着確 認もしていく必要がある。退院 日(産褥 4日目)の新生児の 体重減少(-10.3%)で最大、 分泌量ゆっくり上昇している 様子でタリタリ 浅めにて深め の吸着練習しつつ退院となる。
	退院後のフォロー		継続事項：新生児の体重減少 及び増加不良
母子	退院時の栄養方法		母乳栄養
	退院後のサポート		夫のみ(家事は夫がほとんど やってくれるという)
	連絡先		自宅 △△区

助産院と病院の産科オープンシステム



～ もっと安全で快適に出産するために ～

モデル事業 ご利用者アンケート

このアンケートは、本事業をご利用いただいている妊婦さんに、出産や育児についての希望や、現在のケアについて感じていることをお伺いするために実施するものです。

今後、ご協力いただくインタビューの際にも参考資料とさせていただくため、お名前も記入していただきますが、個人名が他の人に知られたり、お名前が公表されることはありません。また、このアンケートに書かれた内容で、今後のケアで不利益をこうむることはありません。頂いたご意見をもとに、本事業をより良いものにしていきますので、安心してご記入ください。

() 病院

産科部長 ××××

■最初にあなたのことについて、ご記入ください。

記入日	() 年 () 月 () 日
お名前	
年齢	() 歳
ご住所	() 市・町・村・区
ご職業	() フルタイム・パートタイム
出産予定日	() 年 () 月 () 日
訪問健診実施日	1回目 () 月 () 日 2回目 () 月 () 日
定期健診実施日 (××病院)	() 月 () 日

8. 前もここで出産をしたから
9. 食事がよいから
10. 入院期間が短いから
11. 料金が適切だから
12. 出産スタイルを選べるから
13. 助産師外来があるから
14. 出産時の家族の立会いが可能だから
15. 出産直後のカンガルーケアができるから
16. 母児同室を実践しているから
17. 産科の病棟が他の科から独立しているから
18. 母乳育児のサポート体制が整っているから
19. その他 ()

Q6 ××病院を知ったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 友人・知人からの情報
2. 家族からの情報
3. 本・雑誌や番組の情報
4. インターネットの情報
5. 保健所等、行政機関での情報
6. 医師の紹介・意見等
7. その他 ()

Q7 他施設での出産について検討しましたか。

1. 検討しなかった
 2. 検討した
- 具体的には、(1. 他の病院 2. 診療所 3. 助産所)
- そこを選択しなかったのは、なぜですか。
- ()

■ 本事業について、お伺いします。

Q8 「モデル事業ご利用の手引き」は、わかりやすかったですか。

1. はい
2. いいえ <具体的にわかりにくかった内容を、以下に書いてください>

Q9 本事業について、医師の説明はよくわかりましたか。

1. はい
2. いいえ <具体的にわかりにくかった内容を、以下に書いてください>

Q10 本事業について、助産師の説明はよくわかりましたか。

1. はい
2. いいえ <具体的にわかりにくかった内容を、以下に書いてください>

Q11 同意書について理解できましたか。

1. はい
2. いいえ <具体的にわかりにくかった内容を、以下に書いてください>

Q16 訪問健診について、よかったと思ったこと、改善した方がよいと思ったことの両方を、なるべく具体的に書いてください。

(健診に時間を十分に掛けてもらえましたか。／ご自分の話を十分に聞いてもらえましたか。／質問に丁寧に答えてもらえましたか。／健診を通じて、安心ができましたか。／助産師と相互に理解を深めることができましたか、また、そのほかに気づいたことなど)

<よかったこと>

<改善した方がよいと思ったこと>

Q17 助産師がご自宅を訪問することについては、どう思いましたか。

■ × × 病院での健診について (直近の健診についてお答えください。)

Q18 ご自宅から病院までの通院 (片道) に要した時間はどのくらいですか。

() 時間 () 分くらい

Q19 病院での滞在時間はどのくらいでしたか。

() 時間 () 分くらい

Q20 予約時間は何時でしたか。実際に健診が開始したのは何時でしたか。

予約時間 () 時 () 分 ~ () 時 () 分
→ 実際 () 時 () 分

■ 医師の対応についてうかがいます。

Q21 医師の診療は、リラックスして受けられましたか。

1. はい 2. いいえ

Q22 ご自分の話は十分に聞いてもらえましたか。

1. はい 2. いいえ

Q23 質問には、丁寧に答えてもらえましたか。

1. はい 2. いいえ

Q24 経過について十分に説明を受けましたか。

1. はい 2. いいえ

Q25 治療や検査については、十分な説明を受けましたか。

1. はい 2. いいえ

Q26 診察では、安心するような言葉をかけてもらいましたか。

1. はい 2. いいえ

■外来での助産師の対応についてうかがいます。

Q27 助産師の健診は、リラックスして受けられましたか。

1. はい 2. いいえ

Q28 ご自分の話は十分に聞いてもらえましたか。

1. はい 2. いいえ

Q29 質問には、丁寧に答えてもらえましたか。

1. はい 2. いいえ

Q30 経過について十分に説明を受けましたか。

1. はい 2. いいえ

Q31 治療や検査については、十分な説明を受けましたか。

1. はい 2. いいえ

Q32 診察では、安心するような言葉をかけてもらいましたか。

1. はい 2. いいえ

■病院の対応についてうかがいます。

Q33 プライバシーへの配慮は十分だったと思いますか。

1. はい
2. いいえ <具体的に良くないと感じた内容を、以下に書いてください>

Q34 設備について不便を感じる場所はありますか。

1. ない
2. ある

→具体的には

- (1. 診察室 2. 待合室 3. トイレ 4. 廊下や階段、エレベータ
5. その他 ())

→不便を感じた内容を、以下に書いてください。

()

Q35 事務職員の対応はよかったですか。

1. よかった
2. よくなかった <具体的に良くないと感じた内容を、以下に書いてください>

■出産、育児への期待と不安についてお伺いします。

Q36 妊娠してから、これまでに不安に感じたことがあれば、記入してください。

Q37 これからの出産や育児について、不安に感じていることを記入してください。

--

Q38 (出産経験のある方のみ) 前回の出産場所はどちらですか？

1. ××病院 2. 1 以外の病院 3. 診療所 4. 助産所 5. 自宅

Q39 (出産経験のある方のみ) 前回の出産についてどう思いますか。

良かったと思うことは何ですか。

嫌だと感じたことは何ですか。

今回は、どのようなお産にしたいですか。

Q40 (出産経験のある方のみ) 前回の出産後、どのようなサポートをほしいと思いましたか。

--

■全ての方にお伺いします。

Q41 この事業に何を期待していますか。これまでのところで、改善した方がよいと思うことがあれば、書いてください。

ご協力ありがとうございました。
これからも、どうぞよろしく申し上げます。